



よこはま プロバス通信

No5 2012年2月発行

<http://yokohama.probus.web.fc2.com/index.html>

情報委員会・編集委員

情報委員会所在地：横浜市中区港町3-13番地 弁慶内 電話：045-651-3643

さあ～新たな決意で新春をスタートしよう

会長 森山 功

賑やかに、そして多彩な顔ぶれの皆様が新春賀詞交換（第124回例会）に元気いっぱい集う事が出来ました。例年この新春の恒例行事として松田和様の謡で始まり参加者全員の3分間スピーチで終わるという至ってシンプルな例会（写真）でございますが、これが一人一人の個性溢れるユニークなお話で思わず聞きほれてしまいました。この皆様の活躍が横濱プロバスの発展



に繋がりひいては個人の幸せと社会の繁栄に貢献するものと確信を新たに致しました。

昨年は横須賀PCが10周年、今年2月には鎌倉PCが同じく10周年の記念祝典を開催することになっています。年月を重ねそれぞれに地域にしっかりと根を張ってきたと実感いたします。

友好を深めてきました東京八王子、東京多摩PCとの交流も回を重ねる毎に友好の輪が広がっております。またお互いの情報交換、特に社会貢献、地域への取り組みなど学ぶことが多かったように思います。更に活動の励みにもなりました。自分のクラブに閉じこもるのではなく。もっともっと活動の輪を広げ、力を一つにしてプロバスの目的でもある「豊かなキャリアを活かしながら互いに親睦を図り、社会貢献していこう」という主旨を具現化していく、そのような時代を迎えていると確信することが出来ました。どうぞ本年もご協力、ご支援をよろしくお願い致します。

（会員全員の3分間スピーチはホームページに掲載しています）

●写真で綴る東京多摩プロバスクラブ交流会●



東京多摩のメンバーと記念撮影④和やかな中に思い深い交流会となった。中でも明治百年記念に植樹された銀杏の実を拾い煎って、温かいジャスミン茶と共に聖蹟桜ヶ丘公園入口で振舞われたことは感動致しました、また多摩の史跡の解説には改めて日本の文化・歴史を垣間見た思いでした。



温かいジャスミン茶を頂く



明治百年記念に植樹された銀杏



▼移動例会（10月）
委員長中心に中村会員の中華街の
成り立ちの説明に参加者一同う
なずく事しきりであった

● 10月移動例会開催(第121回)

平成23年10月14日(金)10時から、23年度移動例会「中華街散策と中華料理を楽しむ会」が開催されました(26名参加)。元町中華街駅に集合し、先ず中村会員の案内の下、アメリカ山公園、山手外国人墓地、代官橋、朱雀門、ま祖廟、関帝廟を巡る散策を楽しみました。

例会と懇親会は、上海料理「大新園」にて初めて開催しました。

森山会長挨拶の後、9月の誕生月会員、散策の講師・中村氏にお祝いの記念品が贈られました。

9月の会務報告(理事会協議事項)は、概略次の通りです。

「全日本プロバス協議会第1回関東中央地区交流会」時の八王子PCとの交流会(11月17日八王子)並びに東京多摩PCとの交流会(11月24日)について

11月例会と「にこにこサロン」開催、及びゴルフサークルコンペ開催について等

なお、当日、新会員名簿・入会の葉と会報紙「よこはまプロバス通信」(第4号)が発行配布されました。担当された方、大変お疲れ様でした。

例会議事は、会員の協力で迅速に終了し、乙幡会員の音頭で乾杯、上海料理・大新園自慢のワンタンなどフルコースを心行くまで堪能しました。

飲み物を含め、3千円の会費でぴったりOK、内容ある散策ともども皆さん大満足の1日でした。

● 第1回ゴルフサークル大会開催

当倶楽部趣味の会「ゴルフサークル」では、関口尚親会員の紹介により、10月20日、千葉ブリックス&ウッドクラブにて第1回の大会を開催(写真)しました。

当日は心配された雨もなく、秋の静けさに包まれたコースにて、青木、松下(尚)、岡部、荻原各会員が関口ご夫婦の案内の下、スルーの熱戦を繰り広げました。

この道数十年の青木師匠は、難しいコースを目標スコアで上がりましたが、皆さん次回(コンペとしスコア公開)での雪辱を期すスコアでした。

試合終了後は、カントリー風の素晴らしいクラブハウスレストランでミニパーティーを開催、ゴルフ談議に花を咲かせましたが、青木大先輩から次の通り「ゴルフがうまくなる方法」が伝授されました。

*運動会をしていれぼうまくなる!! ※すなわち

- ①運;「運」が良ければ!
- ②動;「道」具がよければ!
- ③会;「回」数がよければ!

うまくなる。さて、会員の皆様、如何お考えですか?

今回は3月頃を予定しています。多くの会員の参加をお待ちしています(荻原記)。

● 11月例会開催(第122回)

平成23年11月11日12時から、相生本店にて11月例会が開催されました(22名参加)。

森山会長の挨拶並びに特別放談講師、山手ロータリークラブ大場英男会長の紹介の後、誕生月の森山会長にお祝いの品が贈呈されました。

11月の会務報告(理事会協議事項)は、次の通り。

サークル・同好会報告

新しいホームページ開設

東京多摩PCとの交流懇親会(24日)は15人参加予定で、補助2千円。

全日本PC協議会等報告(今後の日程、横浜への会長・幹事長就任依頼経過、会費値上げアンケート結果などが、加藤前会長から資料により報告)。また、17日に八王子で、関東中央地区交流会が開催され、役員等が参加する予定。

当日の特別放談「はぐれ坊主の戯言」

(横浜山手RC大場会長=写真)は題名通り、山形県天童の元和尚さんによる、破天荒且つ変幻自在なご講和となりました。同じRCの松田さんは芸達者な先輩として登場、同じ



く佐藤博さんは、仏教上の「悪い人(煩惱一杯)」の例として何故か登場となりました。

会員一同のために有難い摩訶般若心経を上げて頂き、終了となりました(合掌)。

● 第2回にこにこサロン開催

平成23年11月11日、11月例会後、第2回にこにこサロンが、弁慶にて開催(写真)されました(12名参加)。

今回も、青木社長のご厚意により、弁慶の自慢料理とカボス入り焼酎飲み放題の提供があり、大場会長の「はぐれ坊主」講和を話題に高尚な論議が展開され、プロバス倶楽部の将来展望などについて語り合いました。



▲全日本プロバス協議会第1回関東中央地区交流会に参加して懇親会で横浜の活動を披露する関口情報委員長



話の尽きない中、予定時間満了でお開きとなりましたが、歌わずには納まらないYHHさん方は、2次会で更に盛り上がったとのことでした。

● 12月例会開催(第123回)

平成23年12月9日11時30分から、中華街大新園にて、年忘れクリスマス例会が開催されました(28名参加)。

森山会長から、年末に当たり、6月就任以降の役員・会員の支援協力に衷心より感謝し



たいとの挨拶がありました。

次に、新入会員、樋口健太郎氏の紹介が、大久保武会員よりありました。樋口さんで会員は38名となります。

12月の会務報告(理事会協議事項)は、次の通り。

東京多摩プロバス倶楽部との交流懇親会(1月24日、15名参加)報告(特集参照) 2012年7月以降の役員選出方法について;検討プロジェクト加藤武委員長から報告、原案了承。

議事終了後、加藤義一アドバイザーの音頭で乾杯、年忘れクリスマス会が盛大に開催されました。

続いて、今月の誕生月会員、荻原信吾さんと岡部正久さんに、岡会員委員長から豪華なお祝い品が贈呈されました。

ビールと紹興酒で盛り上がる中、クリスマス会のくじ引きプレゼント(外れは無し)が全会員に当たり、更には、ジャンケンによる各テーブル唯一人の特別贈呈が行われました(すべてアドバイザーの皆さんが獲得、品物も長老に相応しい逸品でありました。また、4月の移動例会・一泊親睦旅行案(4月12日、13日。湯河原)並びに2月中下旬の国外旅行(保谷会員企画)の案内がありました。

10月例会に続く美味しい料理とお酒で盛り上がる中、今月の歌・「母さんの歌」を合唱して閉会となりました。役員の皆さん、準備と運営、ありがとうございました。

〔横須賀プロバスクラブ創立10周年記念会へ参加〕

平成23年12月16日14時から、横須賀セントラルホテルにて、標記10周年記念会が忘年会を兼ねて開催されました。

生憎、当プロバスは理事会開催日であったため、加藤前会長、荻原前幹事、大久保元幹事の3名が会を代表して参加しました。

来賓は、当倶楽部ほか、横須賀南西ロータリークラブ、東京八王子PC(佐々木会長、立川全日本協議会副会長)、鎌倉PC(正山前会長ほか)、横浜港南台PC(小野里会長ほか)の13名で、開催者約30名の盛大な会となりました。



年末の多忙な時期でしたが、大震災で5月開催を延期したこともあり、会員によるマジックショー、バンド演奏、カラオケ、ビンゴゲームと、大変盛大な記念会となり、来賓一同、主催者と共に お祝いすることができました。

● 1月例会開催(第124回)

平成24年1月13日12時から、相生本店にて、31名の会員の参加の下、横浜山手RCの中込清美様をお迎えし、24年賀詞交換会が開催(1面に写真)されました。

森山会長から、年頭に当たり、15周年に向けたスタートの年として、新たな気持ちで当プロバスの更なる発展に努めたいとの挨拶がありました。

まず恒例の「謡い」鶴亀のフルバージョンが、新春を寿ぎ、松田アドバイザーから披露され、改めて日本文化の素晴らしい伝統(本橋司会者)に触れることができました。

次に、誕生月の会員(松田、小磯、青木、岡、松下尚雄の各氏。青木氏は喜寿)へのお祝い贈呈を含め、各会員から年頭の3分間スピーチを頂きました。

母校の箱根駅伝(母校が出場していない方も)応援の話で大いに盛り上がり、また、病氣・怪我を乗り越え新春を迎えた喜び、家族に囲まれての幸せな正月、困難を極める世界経済情勢への懸念など、様々なお話を伺うことができました。

相生さんからの樽酒と、新春恒例のビールで皆さん大いに元気の出たところで、正月の歌(冬景色)を斉唱して閉会となりました。

<理事会等の報告>

毎月第3金曜日に進交会館6階みなと倶楽部に於いて理事会を開催しております。

ここでは行事予定、例会の反省と次回の例会の次第、役員の任務等の確認から他クラブとの交流など諸々の事が検討されております。

今号から例会報告と内容がダブル場合が多いことから理事会の内容は別途記録は残し重要な要点のみ通信に記載することにいたしました。

ご了承のほどよろしく願いいたします。(編集部)

<役員選出のルール作り>

プロジェクトチーム(チームリーダー加藤武氏)編成を総会で決定し依頼。その提言を9月理事会で了承し12月例会で会員の皆様に発表いたしました。

このA,B,Cグループの編成のもとAグループから正役員(1年間24年度)をBグループから副の役員(初年は副役職を。25年は正役職)を6月に選出。25年度の副役職はCグループから選出することとなりました。全員の方に役務を担っていただく方向ですのでよろしくお願いします。



会員 中村 寛

信濃の国は十州に 境連ぬる国にし
て 聲ゆる山はいや高く 流るる川は
いや遠し 松本伊那佐久善光寺 四つ
の平は肥沃の地 海こそなけれ物さわ
に 万ず足らわぬ事ぞなき。

長野県出身者が等しく愛唱していて、

カラオケにも収録されている長野県民歌「信濃の国」の第一番をご紹介します。

第二次大戦末期昭和20年7月に仮の疎開先として、鎌倉から初めて訪れた小海線沿いの青沼村に数日間滞在中耳にした、素晴らしい詩と曲に国民学校5年生の私でもすっかり感動させられ、以来2曲目の愛唱歌となった。

振り返って昭和16年4月、本牧の市立大鳥国民学校1期生として入学したが何回かの祝賀式には必ず「横浜市歌」を歌っていたので、我が第一の愛唱歌である。

平凡な新入生には歌詞も曲も難解だったがとにかく素晴らしい歌であることに驚きの念を抱いた。この二つの曲は我が心の宝物だ。

横浜プロバス倶楽部会員の小磯智功氏が横浜市の大要職を務められる傍ら、横浜交響楽団の理事長であられることは会員周知のところだが、平成21年開港150年記念事業として彼が責任編集された冊子「横浜市歌」のご一読を是非お勧めしたい。(同年6月、当PCのホームページに掲載)

明治時代の音楽教育事情を初め、作詞者・森林太郎(鵬外)作曲者南能衛、指揮者高野己之助などについての詳細な説明、そして原曲から改訂に至るまでを実に懇切丁寧にかつ平易に解説されているからである。

明治42年(1909)年の横浜開港50周年記念事業はこの市歌と市徽(き)章の制定、さらに横浜市開港記念会館(大正6年=1917年、現在国重要文化財)の建設であった。

市徽章は簡素ながら力強さを印象付けるもので、広く市民に応募を呼び掛けて採用された。見ての通り「ハ」「マ」の2文字をデザインしたいわゆる「ハマ菱マーク」で明治42年6月5日に公示されている。

市歌といい、市徽章といい、開港記念会館が百年も前にハマっ子の眼前に姿を見せたことに尊敬の念と感謝の気持ちを私は強く抱いている。

(次号連載は第5話<横>の予定です)



わが日の本は島国よ
朝日輝う海に
連なりそばだつ島々なれば
あらゆる国より舟こそ通え
(市歌・一番)

市徽章



横浜市開港記念会館
(中区本町二丁目六番地)

<全日本プロバス協議会便り>

直前会長 加藤 武



今迄私たちは全日本プロバス協議会についてあまり関心もなく、内容も理解していなかったと思います。そこで編集部意向もあり、5回くらいの連載で「全日本プロバス協議会ってなに〜」との疑問にお答えしたいと思います。

<設立経緯>

平成16年(2004)年に日本国内に所在するプロバスクラブが協調し、連携して相互の成長を図る事を目的として大阪で創立の為の全国大会(総会)を開催し、その後尼崎、京都、旭川、そして本年11月に神戸で第5回総会を開催する予定になっております。総会は2年に1度開催となっております。

<クラブの現況>

昨年10月現在では全国で103クラブが活動しており全日本協議会に加入しているクラブは65クラブとなっております。

活動内容としては、運営面では2年に1回の総会・理事会。理事会の無い年は正副会長等主要役員による本部役員会を開催。事業面では年1回加入クラブに対しての活動内容に関するアンケート及びインターネットによる適時情報提供を行っています。また出席要請のあるブロックまたは単位クラブへの会長、幹事長等の親善訪問等となっております。

<財政>

年会費1クラブ2千円となっております。年間の収入は約13万円で自ずと活動の制約となっております。従ってこれまで出席要請を受けた場合、交通費、宿泊費等全て出席役員の自己負担となっているようです。

<役員>

今迄創立以来8年間、会長、幹事長は関西で担当してきておりました。そこで今後は「関東で役員(会長、幹事長)を」という案が先の理事会で決定されたと聞いております。

また役員構成は会長、副会長3名、幹事長(兼会計)、会計監査2名及び全国を9ブロックに分けて各ブロックから1名づつ計9名の理事となっております。ブロック別は北海道、東北、関東、信越・北陸、三重・東海、近畿、中国、北九州、南九州です。

※

全日本の活動内容をより一層活性化し、クラブ活動の輪を広げるためには、全クラブ・全会員の全日本に対する理解と協力が必要ではないでしょうか。

編集後記

▽継続は力なり、皆様が記事を提供して頂いているからと感謝しております。ありがとうございます。▽情報委員会としてホームページの強化、メーリング(一斉メール配信)と啓発推進しておりますが、会員同士のインターネットメール普及率は52%に過ぎません。▽覚えるには触り、便利だと感じる以外、道はありませんので情報委員会としてもご協力いたします。▽また携帯を持っている方であればインターネット加入しなくても、電話番号でメールするCメールという方法があります。受信無料、家族間は送信無料、家族以外は約3円。▽携帯会社が異なっても、昨年からはCメールができるようになりました。これらを利用して少しでもメール文化に馴染んで頂ければと思います。▽今後共々よろしくお願い致します。「よこはまプロバス通信」にご意見もお寄せ頂き充実の会報誌として行きたいと思ひます。

(情報副委員長 岩田 慎一)